

# 中小業者を支援し、市民目線でいのち暮らしを守り、平和の発信地ヒロシマの市長に一番ふさわしい人を市長にえらぼう!

「市民の会」の河辺たかふみさんを支援します。



## ダンプ支部は「市民の会」の市長候補の支援を決定しました

広島市長選挙が三月二十九日(日)に告示されました。今後四年間広島市政のかし取りをまかせられる市長は、市民目線で弱い人の味方、中小業者の気持ちの理解できる経験を積んだ人こそ最もふさわしい人です。建交労広島ダンプ支部は、「市民の会」の市長候補河辺たかふみさんの支援決定をおこない当選のため奮闘します。

広島市民にとっては一番身近な広島市政の最高責任者を決める広島市長選挙ですが、松井一實市長になってから、市民を遠ざけ「事務事業見直し」でくらし・福祉・教育など四〇〇〇事業の改悪見直しを提案、国保の値上げなどで市民は悲鳴を上げています。

大企業優先の開発を推し進める市政ではなく、地域密着の公共工事をすすめ、市民のいのちと暮らし・福祉優先の市政こそ求められています。ダンプ支部執行委員会では、「市民の会」河辺たかふみ候補の支援を決定し、当選のため奮闘します。

## 市民の声聞く耳持たない市長でなく温かい市民目線の市長を

しを提案、国保の値上げなどで市民は悲鳴を上げています。

河辺たかふみさんは広島民商の事務局員・事務局長として二八年間、中小業者や働く者の立場で活動してきた人です。河辺候補はダンプも関わりのある「公契約条例」の制定についても公約に掲げています。ダンプ持ち労働者・建設労働者の仕事・暮らしを守るために新しい広島市長を実現させるため私たちも大いに奮闘します。

## に二百五十人が参加

三月二十九日(日)の午前九時から「原爆ドーム前広場」で行われた「市民の会」河辺たかふみ市長候補の出発式には二五〇人の市民がかけつけ大変に盛り上がりました。(写真上)

河辺たかふみ候補は、「いのちと暮らしを守る」「ヒロシマの声を全世界に」「地域の中小業者支援策」「市民の声が生きる広島」の四つのビジョンを訴え、「温もりのある市民目線で、いのちと暮らしを守る市政を実現させます」と力強く訴えました。

河辺たかふみさんは広島民商の事務局員・事務局長として二八年間、中小業者や働く者の立場で活動してきた人です。河辺候補はダンプも関わりのある「公契約条例」の制定についても公約に掲げています。ダンプ持ち労働者・建設労働者の仕事・暮らしを守るために新しい広島市長を実現させるため私たちも大いに奮闘します。



知り合いの小林豊教議長とガッツリ握手する河辺たかふみ広島市長候補(29日原爆ドーム前で)

## 原爆ドーム前での出発式

### 徒然草

■沖縄の普天間基地の撤去と名護市辺野古への新基地建設の問題もようやくテレビでも連日取り上げられるようになった。■アメリカの占領後の七〇年の歴史を経過して、いまだに日本の米軍基地の七四%が面積わずか四%の沖縄におかれたままということ。辺野古の新基地は百年〜二百年持つ巨大基地の固定化につながるもの。沖縄県民もいくらなんでもこれは何とかしてもらいたい。沖縄振興を阻害しているのは米軍基地。■この沖縄の声が昨年「オール沖縄」の世論となって、辺野古をかかえる名護市長選挙、名護市議会議員選挙、沖縄県知事選挙、昨年末の総選挙とすべて、辺野古への新基地建設は反対派が勝利、沖縄の世論はもう後戻りできない状況に。■安倍政権は、「普天間基地の危険除去のため移転先は辺野古(への新基地建設)しかない」と壊れたレコーダーのごとく、繰り返し、沖縄県民の反対の声を無視して、県民代表である知事にも会おうとせず、ボーリング調査など基地建設に向けての工事を強行している。■「政府は沖縄(知事)と話し合いをしろ」の世論も広がってきている。沖縄県民の不屈のたたかいは日本全国、世界の世論を味方につけて広がっている。(M)

広島のだんぷ労働者の新聞

# ダンプ通信

全日本建設交通一般労働組合広島県本部  
広島ダンプ支部  
〒七三〇-〇八五三  
広島市中区堺町一丁目一九一三〇三  
TEL (〇八二) 二三五-三〇五二  
FAX (〇八二) 二三五-三〇五二  
MAIL ctg@hiroshima.email.ne.jp